

平成 19 年 8 月

平成 20 年度から実験動物技術者認定制度が一部変わります

社団法人日本実験動物協会

当協会では実験動物技術者資格認定試験における選択動物種群を平成 16 年度に改定いたしました。その後実験動物技術指導員・準指導員制度の発足および 4 年生大学在学生の実験動物 1 級技術者受験特例の制定などを実施してきました。

さらに、実験動物技術者認定制度について種々検討を重ねて来ました結果、平成 20 年度から下記のように実験動物技術者認定制度を変更することといたしましたのでお知らせいたします。

大きな変更点は次の 2 点です。

1. **実験動物 2 級技術者試験(以下 2 級試験という)は、学科試験と実地試験(実技試験)を別々に実施します。**
2. **実験動物 1 級技術者試験(以下 1 級試験)の学科試験は、実験動物高度技術者養成研修会(白河研修)の修了試験と同時に実施します。**

この変更に伴い、通信教育、高度技術者養成研修会(以下白河研修会という)の補講(各論講義)等の実施時期・会場等も以下のように変更いたします。

I 実験動物 2 級技術者試験

①通信教育(2 級技術者を対象)

- ・ 3 月開始となります(従来は 6 月開始)。
- ・ 3 月に開始し、添削問題を 5 回配布し、7 月末に修了します。
- ・ スクーリングは従来通り、9 月または 10 月に行います。

②特例認定高校対象学科試験

- ・ 高校生の 2 級学科試験日程は従来通りとし、原則として 8 月の第 3 日曜日に実施します。

③2 級学科試験(一般および特例制度による認定専門学校学生)

- ・ 上記の特例認定高校と同時に、原則として 8 月の第 3 日曜日に実施します。
- ・ 試験会場は、従来の高校生の試験場所である茨城、千葉、群馬または埼玉、神奈川、愛知または岐阜、長野、長崎の 7 箇所に加え、東京、京都または大阪などの追加を検討しています。

④2 級実地試験(一般、特例高校生、特例専門学校学生)

- ・ 2 級実地試験は、11 月下旬に実施いたします。
- ・ 特例高校生、特例専門学校学生は学科合格者のみを受験対象とします。
- ・ 一般受験者は、学科の可否に関係なく受験することといたします。学科、実技の一方に合格し、もう一方が不合格の場合は、以降 2 年間は合格した学科または実技試験を免除します。

II 実験動物 1 級技術者試験

①白河研修会

- ・従来通り、9月の第2～3週頃に実施いたします。
- ・従来10月に実施していた各論講義（高度技術者養成研修会の補講）は、白河研修会に組み込んで行います。
- ・白河研修会における必須（マウス、ラット、その他の小動物）の現地試験（実技試験）は、従来通りに実施いたします。
- ・白河研修会の修了学科試験（総論および各論のマウス、ラット、その他の小動物）は、白河研修会が終わった次の日（土曜日）に行います。同時に選択科目（動物種2科目選択）の試験を同時に行います。

②1 級学科試験

- ・試験日は9月2～3週の週末（土曜日）に実施します。
- ・試験科目は必須の総論および各論のマウス選択科目（動物種2科目選択）を必須は午前、選択科目は午後に分けて実施します。
- ・白河研修受講生と同時に別場所にて実施します。
- ・試験会場は、白河研修受講者は白河会場で行い、一般の受験者は東京、京都または大阪を予定しています。
- ・学科試験（必須、選択科目の両方）合格者は、以降2年間は学科試験を免除して実技試験を受験できます。

③1 級現地試験

- ・11月下旬又は12月上旬に現地試験を行います。
- ・学科試験の合格者を対象とします。
- ・実技試験は必須（マウス）と選択動物1種を対象に実施します。白河研修会で必須の実技試験合格者は必須の実技試験を免除します。
- ・実技試験で必須または選択動物のどちらかが不合格になった場合は、合格した科目については、以降2年間は実技試験を免除します。

④1 級技術者向け実技研修会

1 級技術者（認定試験受験者）向けに、モルモットとウサギ及びサルを対象にした実技研修会を10月頃に開催いたします。

備考：費用等については後日ホームページ等でご案内いたしますので申し添えます。

不明な点は社団法人日本実験動物協会 事務局までお問い合わせ下さい。

お問い合わせは日動協のホームページのお問い合わせからお願いします。

または、下記のメールアドレスにお問い合わせ下さい。

メールアドレス jsla@nichidokyo.or.jp

以上

平成24年4月1日一部修正済み